

# 腹腔鏡下手術をうけられる

# 様へ

パスコード:14007 世代:2

経過 月 日	入院日 /	手術当日 /	術後1日目 /	術後2日目 /	術後3日目 /	術後4日目 /	退院後の診察 月 日
達成目標	手術の必要性・処置の必要性が理解できる	ベッド上で体の向きを積極的に変えることができる 痛みを表現できる	歩行することができ、自分で排尿ができる	身の回りのことが自分で出来る	退院指導が理解でき、退院後の生活の不安が軽減する	(退院基準) 創部の異常がない 採血結果が問題ない	療養生活が継続できる 出血や腹痛がない 発熱がない
治療 処置 検査 薬剤 点滴	採血 検温(入院時、19時)  持参薬の確認をします 夕食後と眠前に下剤を服用します 	内診 検温(朝・手術前・手術後)  点滴が3本あります	採血 検温 回診時傷の確認をします	検温 回診時傷の確認をします	検温 回診時傷の確認と 臍洗浄をします 内診(退院診察)	採血	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>退院後の療養生活上 の留意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後二週間くらいは外出を避け、疲労を感じたら休みましょう。</li> <li>・退院後の初回受診を終えるまではシャワーにしてください。</li> <li>・手術を受けたことで、排尿や排便に関係する神経が傷つき弱くなっている可能性があります。そのため、便秘や下痢、膀胱炎の予防に心がけましょう。</li> <li>・性生活は退院後の初回受診までは控えていただき、経過が順調であれば診察後は手術前と変わりなく行なうことができます。</li> <li>・出血、腹痛、むくみ、風邪症状がない138度以上の発熱があるときには早めに受診し、医師の診察を受けて下さい。</li> </ul> </div>
安静度	医師より指示がなければ院内自由です	手術後はベッド上安静です 	トイレ歩行開始です。順調なら病棟内歩行できます  最初はスタッフと一緒に動きましょう 	院内歩行は自由です 			
食事	お昼から食事ができます 午後10時以降絶食です(飲水はできます)	絶食絶飲です(手術の3時間前までは飲水できます)うがいはできます	朝から軟菜食(手術時間によっては昼からになります) 	普通食が出ます 			
清潔	臍処置をします 臍処置後、お風呂に入ってください		朝はベッド上で洗面、歯磨きをします タオルで体を拭きます 尿の管を抜いた後、トイレのウォシュレットを使用して外陰部を洗浄します 	傷の確認後医師の指示でシャワー浴ができます 			
排泄		手術室から排尿のための管が入っているのでトイレに行く必要はありません	ベッドから動けるようになれば尿の管を抜いてトイレに行けます 				
患者様及びご家族への説明	主治医より手術・治療についての説明があります 入院期間について説明します 名前確認のためにネームバンドをつけます 弾性ストッキングのサイズを測ります 手術の物品を確認します 手術前までの経口補水液の説明をします  手術室の看護師の訪問があります 麻酔科からの説明があります 入院中や退院後の生活について、心配なことがあれば相談してください	ご家族の方は手術予定時刻の1時間前に来院していただきます 手術用に準備した寝衣に着替え、弾性ストッキングをはきます 手術中、ご家族の方は院内のポケベル持ってお待ちいただきます 手術後は適宜訪室し、手術後の経過を観察します 痛みの強い時は対応させていただきます 麻酔が覚めたら体の向きを変え、深呼吸をしましょう 手術後、医師がご家族へ手術経過の説明をします 			退院後の生活について説明をします * 病状により退院日は変更することがあります 	退院は午前中になります 	

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

大阪南医療センター クリニカルパス委員会 2020/2/7承認